

京都地下鉄整備(株)	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
------------	---------------------------

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性(存続, 自律化, 解散及び統合)」と「目標年度」を記載する。団体経営の長期的な目標であり, 「中期経営計画」はこれらを実現するための工程表である。

方向性	存続	目標年度	—
-----	----	------	---

2 「今後の方向性」に向けた基本的方針

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る各団体の「今後の方向性」を実現するため, 業務面や財務面等についての基本的な方針を定める。「今後の方向性」が「自律化」の団体については, 「目標年度」までの方針となる。

業務面	市営地下鉄施設や設備における, 保守管理・更新・新設時の監理業務等の受注拡大を図る。
財務面	業務の受注拡大による増収と経費の削減に努め, 段階的に赤字幅を縮小し, 中期経営計画の期間内(平成29年度まで)に, 収支均衡を目指す。
組織面	適正な人員配置, 効率的運営を図りながらも, 質の高い技術力を確保する。
その他	特になし

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「2 「今後の方向性」に向けた基本的方針」を実現するための具体的取組を記載する。
- ② 取組ごとに, 各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成29年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標 「受注業務の拡大」						
取組内容	今後, 新たな業務として受注が見込める「可動式ホーム柵」の監理業務や, 車両, 電気設備関係の監理業務等を受注し, 業務の拡大を目指す。					
○指標	業務拡大による収益増					
採用理由	収支均衡を図るため, 監理業務等の受注拡大が必要である。					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位: 千円)
	1, 000	2, 500	2, 000	4, 100	6, 200	
実現方法	効果的に収益の増を図るため, 従来業務の効率化により組織体制のスリム化を行い人件費を増加させず, 交通局が発注する, 保守管理, 設備更新, 新設における監理業務等を受注し, 業務の拡大を行い, 増収を図る。					

京都地下鉄整備(株)	中期経営計画 (平成27年度～平成29年度)
------------	---------------------------

(2)財務に関する取組

目標「収支均衡を図る」						
取組内容	市営地下鉄施設や設備の、保守管理・設備更新・新設における監理業務等の受注拡大により増収を図るとともに、更なる組織体制のスリム化を行い、人件費など経費削減を図り、段階的な赤字幅の縮小に努め、中期経営計画の期間内（平成29年度まで）に収支均衡を目指す。					
○指標	決算書における当期純損益額の改善（赤字幅の縮小）					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	(単位：千円)
	△8,296	△7,300	△5,200	△2,600	0	

(3)組織に関する取組

目標「組織のスリム化」と「安定した人材の確保」						
取組内容	<p>京都市交通局のOB等の経験豊富な職員を比較的安価な人件費で雇用し、京都市営地下鉄の車両や設備の保守点検における作業監理業務などを行ってきた。今後、適正な人員配置・効率的な業務運営により、組織のスリム化を図っていく。</p> <p>人材確保については、鉄道の保守業務という特殊な業務であり、安全な運行を維持するため、質の高い人材を安定的に確保できるよう努める。</p>					
○指標	職員数及び課数					
目標値	H25(実績)	H26(見込)	H27	H28	H29	[単位：人(課)]
	52(6)	48(6)	47(6)	42(5)	42(5)	